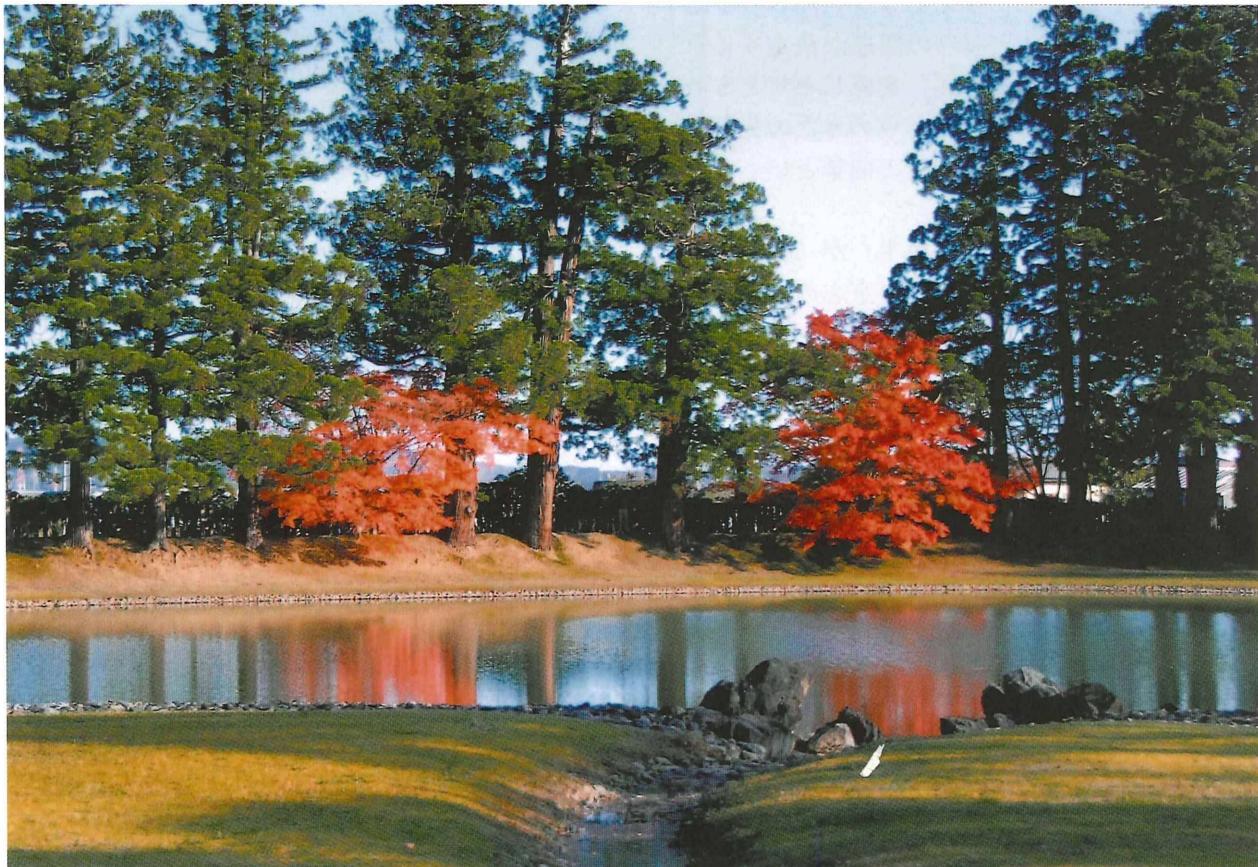


平成 26 年
第 86 号

大鉢協

2 月 20 日
発 行大阪鉢螺卸商協同組合
<http://www.daihyokyo.com>

仙台・毛越寺 平田 彰三郎

- ◇「年頭所感」松井一郎 大阪府知事… 2~3
- ◇「年頭所感」小林三洋 理事長…………… 3
- ◇「新春互礼会 in 2014」挙行 ……………… 4~5
- ◇組合だより…………… 5
- ◇午年生まれ経営者アンケート……… 6~7
- ◇委員会だより…………… 8~10
- ◇第11回 大鉢協親睦ゴルフコンペ…… 10
- ◇支部だより…………… 11~12
- ◇第1回 ランニング同好会…………… 12
- ◇OS会の貢(熊田 隆、榎 恭介)… 13~14
- ◇随想投稿欄…………… 14~17

(大山寛之、松元 収、粕渕正明)
赤座和宏、田村応友

- ◇『あきんどCafé』に増谷副理事長登壇… 17
- ◇由良相談役・理事が講演…………… 18
- ◇工場見学&研修会開催…………… 18~19
- ◇FEジュニアセミナー開講…………… 19~20
- ◇平成25年 講演会&忘年会…………… 20~21
- ◇表紙のことば(平田彰三郎)…………… 21
- ◇[シリーズ] 私の宝物(古川武久)…………… 22
- ◇今後の主な年間スケジュール…………… 23
- ◇編集後記…………… 23
- ◇協賛広告…………… 24

目

次

平成26(2014)年 知事年頭所感

大阪府知事 松井 一郎



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、経済面でもようやく回復基調がみられる中、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定するなど、日本全体に明るい兆しを感じる年となりました。大阪においても、うめきたの先行開発区域グランフロント大阪の開業といった、明るいニュースがありました。

知事就任以来「大阪の再生」が「日本の成長をけん引する」という強い意志の下、「変革と挑戦」の取組みに全力を注いでいるところです。就任3年目を迎える2014年は、さらなる飛躍の年にしたいと思います。

柱の一つは、大阪府と大阪市で一本化した「大阪の成長戦略」に基づく持続的な「成長」の実現です。その起爆剤となるのが「特区」です。大阪の成長のためには、人材や企業が国内外から集まり、新たな価値を創出する「イノベーション都市」へと生まれ変わることが必要です。関西イノベーション国際戦略総合特区では、大阪の強みを活かしたライフサイエンスや環境・新エネルギー分野の産業・技術の強化を図り、最大「地方税ゼロ」となる税制措置やプロモーション活動等によって、企業の集積や投資が進みつつあります。

また、昨年末に法律が成立した「国家戦略特区」は、規制緩和や民間開放により民間活力を最大限に引き出す制度です。大阪から「世界に打って出る」「世界を取り込む」をテーマに、医療、都市再生、公設民営学校などのプロジェクトなど、全国一大胆な提案を大阪府・大阪市共同で行いました。今年は、特区の地域指定などが予定されており、指定獲得に向け取り組みます。

そして、特区による経済効果をさらに広く府域全体に波及させ、大阪経済の主役である中小企業等の皆さんにも、景気の回復を実感していただきたいと考えています。

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、経済面でもようやく回復基調がみられる中、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定するなど、日本全体に明るい兆しを感じる年となりました。大阪においても、うめきたの先行開発区域グランフロント大阪の開業といった、明るいニュースがありました。

知事就任以来「大阪の再生」が「日本の成長をけん引する」という強い意志の下、「変革と挑戦」の取組みに全力を注いでいるところです。就任3年目を迎える2014年は、さらなる飛躍の年にしたいと思います。

柱の一つは、大阪府と大阪市で一本化した「大阪の成長戦略」に基づく持続的な「成長」の実現です。その起爆剤となるのが「特区」です。大阪の成長のためには、人材や企業が国内外から集まり、新たな価値を創出する「イノベーション都市」へと生まれ変わることが必要です。関西イノベーション国際戦略総合特区では、大阪の強みを活かしたライフサイエンスや環境・新エネルギー分野の産業・技術の強化を図り、最大「地方税ゼロ」となる税制措置やプロモーション活動等によって、企業の集積や投資が進みつつあります。

また、昨年末に法律が成立した「国家戦略特区」は、規制緩和や民間開放により民間活力を最大限に引き出す制度です。大阪から「世界に打って出る」「世界を取り込む」をテーマに、医療、都市再生、公設民営学校などのプロジェクトなど、全国一大胆な提案を大阪府・大阪市共同で行いました。今年は、特区の地域指定などが予定されており、指定獲得に向け取り組みます。

そして、特区による経済効果をさらに広く府域全体に波及させ、大阪経済の主役である中小企業等の皆さんにも、景気の回復を実感していただきたいと考えています。

また、成長を支える重要な取組みとして、都市魅力の創造と発信を戦略的に進めてまいります。昨年、府・市・経済界共同で立ち上げた大阪観光局を中心に、引き続きオール大阪で都市魅力向上・発信に取り組み、観光集客の強化を図ってまいります。

さらに、来年2015年は、大坂の陣、道頓堀川開削から400年などさまざまな節目の年に当たり、大阪の魅力を世界に向けて発信していくシンボルイヤーと位置付けています。毎日、大阪のどこかでイベントが行われている「年間を通じた空前のお祭り」となるよう、今年から準備を進めていきます。行政として、規制緩和や活躍の場の提供、広域的なプロモーションなど主役である民間の取組みを支え、府域全体で大阪の都市魅力を高める取組みを加速していきます。

成長とともに、「府民の命を守る」ことは、行政として取り組むべき最も基本的な使命です。とりわけ、南海トラフ巨大地震対策は、喫緊に取り組まなければならない課題です。「人命を守る」ことを最優先に、「防災」はもとより、被害を最小限にいくとめる「減災」の取組みが重要です。また、大阪が被災した場合、大阪経済のみならず、日本経済全体にも多大な損失を与えることになります。国家的観点から国においても必要な取組みを行うよう働きかけるとともに、大阪が「真に災害に強い都市」となるため、着実に取り組んでいきます。

まずは、津波浸水被害を防ぐための防潮堤の補強にただちに取り掛かるため、緊急の補正予算を編成しました。府域の詳細な被害想定などを踏まえ、ハード・ソフトの両面から地震・津波対策を行います。

さらに、大阪にふさわしい大都市制度をめざして、現在、「大阪府・大阪市特別区設置協議会」において、具体的な制度設計について議論を進めています。今年は、府民、市民の皆さんとさらに議論を重ね、大きな方向性を見出したいと考えています。広域行政の一元

化や二重行政の解消、そして住民に身近な行政をめざし、将来、誰もが「大阪が変わった、日本も良くなった」と思えるよう「新たな大都市制度」の実現に向けて、取組みを進めます。

今年は、「国家戦略特区」や大阪が全国に先駆けて取り組む「新たな大都市制度」等を通じて、大阪から「改革」を着実に進め、実を結ばせたいと強く思っています。「大阪が

変われば日本が変わる。」を信念に、首都圏とともに日本の成長をけん引し、東西二極の一極を担う「強い大阪」を目指してまいります。

皆さまの一層のご理解とご協力をお願ひいたしますとともに、本年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますようお祈りします。

年頭所感 心に汗をかいて人を育てよう

理事長 小林三洋



謹んで新年のご祝辞を申し上げます。

平素より大阪鉄螺卸商協同組合にお寄せいただいております皆様の暖かいご指導とご支援に対し、心より御礼申し上げます。

大阪鉄螺卸商協同組合は昨年5月より『全員感謝』のスローガンのもと、『相互扶助』の目的を達成するため、新体制でスタートいたしました。副理事長、理事、各委員会の委員長はじめ委員の皆様の積極的で献身的なご努力で、順調に推移しております。深謝申し上げます。

わが国経済は全体的には概ね順調に推移し、緩やかに回復しております。しかし、大企業と中小企業での業況に格差が見られます。大企業の景況感が大きく改善している一方、中小企業は原材料コストの上昇などへの対応が進まず、収益悪化に苦しんでおり、景況感はほぼ横ばいとなっております。

円がドルに対し10円円安になった場合、大企業の営業利益は1.9兆円増加しますが、中小企業の営業利益は1.3兆円減少するというメガバンクの試算もあります。資金繰りも中小企業はなお厳しい状況で、推定30万社以上ある金融円滑化法利用企業の内、5万社が倒産予備軍と言われております。

ねじ業界におきましても一部に明るさが見

られますものの、中小企業が大多数を占めており、コスト転嫁は難しく、同業者間の過当競争も激しく、再生産に必要な利益が得られない状況で推移しております。

我々が扱っております商品は生産財であり、部品です。最終製品ではないことは如何ともしがたく、基本的には需要量しか売れません。国内需要の伸びが期待できない中、新しい機能を構築し、お客様に喜んでいただき、世の中から必要とされる会社を目指すことが肝要です。業界ではリスクを取りながら新しい産業への供給を模索している会社もあります。

会社成功、存続の唯一の道は感謝の気持ちをもって、社員、人を育てることだと信じております。感謝の心、奉仕の心は、人間だけに与えられた無限の宝です。素直に相手の悩みを聞く心構えと、『心に汗をかく』ことが、人の上に立つ人に一番求められるものです。その結果、新しい組織は上司と部下の関係ではなく、一人の人間とその支援者との関係になり、地位と権力の組合せではなく、相互理解と責任の組合せとなります。

それぞれの組合員が人材育成に注力し、よりよい会社となられますことを祈念申し上げます。

皆様の尚一層のご理解と協力を願いいたしますとともに、本年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますよう、お祈りいたします。

「新春互例会 in 2014」挙行

大阪鉄螺卸商協同組合&関西ねじ協同組合

商工総勢341名が盛大に門出祝う

大阪鉄螺卸商協同組合（小林三洋理事長）と関西ねじ協同組合（箕村理理事長）が2年に一度開催する合同新春互礼会が1月9日、大阪市中央区の“シティプラザ大阪”にて挙行されました。近畿経済産業局や大阪府など行政および関係団体から来賓多数が出席し、大阪鉄螺卸商協同組合から76社101名、関西ねじ協同組合から127社210名、総勢341名が参加し盛大に新年の門出を祝いました。

「新春互礼会 in 2014」は、担当の関西ねじ協同組合副理事長・北井啓之氏（ケーム精工）の司会で始まり、最初に両組合代表が登壇。

小林理事長は「日本経済は徐々に良くなっているとの報道ですが、中小企業は原材料のコストアップをなかなか転嫁できず厳しい状況が続いています。メガバンクの試算では、円安が10円進めば大企業の営業利益は1.9兆円増えるが、中小企業の営業利益は逆に1.3兆円減るそうです。

ねじ業界も一部に明るさが見えているようですが、大半が中小企業です。ユーザーへの価格転嫁もままならず、同業者間の競争も厳しく再生産のための利益を得るのは非常に難しい。私共ねじというのは部品であり、生産財であるため需要量以上には売れない宿命を背負っています。国内需要が伸びないなかですが、やはり企業としては新しい機能を構築し、顧客に喜んでいただき、そして世の中に認められることが必要です。関西ねじ様でも大鉄協でもリスクを取って、新しい産業分野に打って出る動きも一部にみられます。

そういう時期に昨年暮れから、また素材価格の値上げが出てきました。統計的に見ると、地球レベルで鉄鋼需要は年間15億トン、対する供給量は同20億トンと、5億トンの供給過剰にあります。こうした状態のなかで日本が素材値上げをし、最終的には私共がエンドユーザー様にお願いすることが可能なのか、非常に疑問です。午年だけに“馬耳東風”とか“馬の耳に念仏”で過ぎれば良いのですが…。ともあれ引き続き関西ねじ様ならびに大鉄協各位のご理解・ご協力をお願いするとともに、皆様方の今年一年が実り多く豊かな年になることを祈念しております」と述べました。



挨拶する小林理事長



挨拶する箕村理事長

このあと関西ねじ協同組合の箕村理事長は「年末年始の景況は政策によりもたらされた円安、株高などにより、一部企業を中心いち早く活況を呈してきた感があります。その後を追って、老朽インフラの維持・管理、耐震化などを中心に、内需が膨れ上がってきた感も見受けられます。政府も新たな設備投資に対する優遇税制や、研究・開発に対する補助金の拡充などを打ち出し、こうした政策に背中を押される形で各企業も様々な施策に打って出る環境が整いつつあります。

我々両組合も商工一体となって数年前から、ねじ産業の活性化に取り組んできました。六角ボルト・ナットのJIS改正では、関係業界が直接関わりながら昨年ようやく改正原案という形で実を結び、今は改訂JISの公示を待つのみとなっています。また“現在進行形”なのが技能検定制度の構築で、これも我々製造側だけでなく商側関係者も非常に興味を示していただいている。

我々ねじ産業に身を置く者が仕事を通じ社会貢献ができる、またこうした誇りを持って仕事ができる環境を作る、夢ある取り組みを商工一体となり進めつつあります。2年に一度の合同新春互礼会ですが、こうした共同作

業の“絆”をますます強め、さらなる発展を目指していきたいと思います。特に今年は、午年だけに駿馬の如く駆け抜けられるよう、皆様にとって良い年になることを願っています」と挨拶しました。

続いて来賓 10 氏が紹介され、代表し内海美保氏（近畿経済産業局）、宮崎豊氏（大阪府商工労働部）が、それぞれ推進する中小企業活性化施策などの紹介を交え新年の祝辞を述べました。

次いで関西ねじ協同組合の慶事として昨年春、旭日小授章を受章した嶋田亘氏（フセラシ会長）が紹介され登壇、箕村理事長から記念品の贈呈が行われました。これに応え嶋田氏は受章の経緯や感想を交え、御礼の言葉を述べました。併せて司会からは、当日都合により欠席した原孝氏（原鉄工社長）の昨秋における黄綬褒章受章も報告されました。

このあと大阪鉄螺卸商協同組合の新年恒例行事である歳男（午年）への祝いが和田正氏（ヤハタ）の司会・進行のもと執り行われ、10名の受賞者を代表し垣内正三氏（垣内螺子商会）が、小林理事長から記念品贈呈を受けるとともに謝辞を述べました。

そして大鉄協副理事長の増谷彰彦氏（増谷

ボルト）による乾杯の発声で杯をあげました。宴半ばでは、若手経営者で組織する OS 会（代表幹事・熊田隆氏＝サンワ・アイ）、K-2（代表幹事・伊藤竜介氏＝伊藤戸車製作所）の幹事一同が紹介され、それぞれ自己紹介を兼ねスピーチしました。

参加者は和やかに賀詞交歓をおこないながら交流を深めるなか、関西ねじ協同組合副理事長の西泰宏氏（西精工）による“米朝締め”を合図に、盛況裡に散会しました。



歳男を代表し
謝辞を述べる垣内氏



OS会(向かって右側)、
K-2(同左側)の幹事一同

組合だより

◇表彰関係

受賞おめでとうございます。

◎大阪府商工関係者表彰

藤本産業 株式会社

代表取締役社長 藤本 享司 氏
(平成 26 年 1 月)

◎大阪卸商連合会優良団体役員表彰

株式会社 三木製作所

代表取締役社長 三木 康晴 氏
(平成 26 年 2 月)

◇新社長就任

○東部支部所属

- ・株式会社 大丸鉄螺製作所
代表取締役 細山田 寛 氏
(平成 25 年 11 月)

○中央支部所属

- ・株式会社 シンエイ
代表取締役社長 小林 篤史 氏
(平成 26 年 1 月)

○西部支部所属

- ・小林産業 株式会社
代表取締役社長 榎垣 俊行 氏
(平成 26 年 1 月)

◇訃報

○中央支部所属

- ・株式会社 太和商店
代表取締役 庄司 晃三 様の
ご母堂 庄司 実素枝 様
(平成 25 年 9 月 16 日 ご逝去)

○中央支部所属

- ・山一精工 株式会社
代表取締役会長 桂 知良 様
(平成 25 年 10 月 18 日 ご逝去)

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご報告致します。

～平成26年 新春企画～

午年生まれ経営者アンケート

1. ねじ業界に入られて何年におなりですか？
2. ねじ業界に入られた動機は？
3. ねじ業界の将来をどう思われますか？
4. 本年の景気予測は？
5. 貴方のお好きなスポーツ選手・
芸能界その他の人、その理由。
6. 貴方の家族構成は。お子様は何人？
7. 貴方の座右の銘は？
8. 貴方のご趣味は？
9. 何かスポーツをなさっておられますか？
10. 何時もよくご覧になるテレビ番組は？
その簡単なご講評も。
11. 旅行ブームです。昨年中にお出かけになつた訪問地と、旅行の回数を教えて下さい。
12. グルメの時代は終わっても貴方の推薦のお店と、その自慢料理をご紹介下さい。
13. お正月のお休みはいかがなさいましたか？
初詣・旅行・家庭サービス・それとも？
14. 特に気をつけておられる健康管理方法は？
15. 最後に、2014年に年男となる貴方の新年のご抱負を一言。

(株)垣内螺子商会

垣 内 正 三

(昭和5年生まれ)

1. 66年。
2. 昭和23年故郷広島にこれと言った仕事もなく長兄をたより上阪して、長兄の商売がネジ販売業である事を知り、働きはじめた。
3. 全ての構造物に締結接合が必要に付き希望がある。
4. 消費税導入まではまあまで導入後は暫く落ち込むのでは？。
5. 野村克也、王貞治、イチロー。天才であり努力者である。頼山陽、開国の必要を説き明治維新の活躍者を輩出した。吉田茂、安倍晋三、リーダーシップあり。
6. 妻、息子・嫁・娘、男子孫4人。
7. 言行一致。
8. 民謡、スポーツ観戦、温泉。
9. 膝屈伸36回、海軍体操10分間、歩行多く。
10. 時事ニュース番組、全てのスポーツ放送。
日々の出来事を知る事ができるのと、勝つためにひたむきな競技者的心姿を自分に置き替え勉強できる。
11. 新和歌の浦、指宿・知覧・人吉・熊本城、
山代温泉、有馬温泉、天の橋立、京都旧

跡廻り8回

13. 初詣・新和歌の浦、映画・永遠のゼロ鑑賞。
14. 食に好ききらいを無くし腹八分目を守り、
三ヶ月毎に血液検査を行い、主治医のチェックを受けている。
15. 疾風のように早く激しく而も美しく走るサラブレット馬、又大地をしっかりと踏み締めひたすら前に進む農耕馬、どちらも人の生き様に必要と思うのですべての事柄を前向きに考え健康に留意し、84才の午年が本当に良かったと思える平成26年にすべく努力精進する覚悟である。

(株)サンワ・アイ

熊 田 常 磐

(昭和17年生まれ)

1. 49年。
2. 実業であった為。
3. 今まで困難はあったが、更に困難の質が変わってくる。
4. 良くなるが手放しではなく、海外情勢で悪くなることも有る。
5. 特に無し。
6. 夫婦二人。
7. 繙続は力なり。
8. 旅行、海釣り。

9. ノルディックウォーク、ゴルフ(全く下手)。
10. BSプレミアム(内容が評価出来るから)。
11. 小笠原、対馬、等5回。
12. 特に無し。
13. 在宅勤務。
14. 食事。
15. 健康第一。

明るく楽しく過ごしたいです。

**太陽ファスナー(株)
馬渕 健司
(昭和41年生まれ)**

1. 15年
2. 妻の家業。
3. 厳しいがチャンスもある。
4. 増税の影響はあるものの回復傾向。
5. 葛西紀明(ジャンプ)今度こそメダルを。
6. 妻、双子の娘と息子、犬。
7. 人間万事塞翁が馬。
8. 旅行。
9. ゴルフ、テニス。
10. 報道ステーション。
13. 妻と伏見稻荷に初詣。
14. 感性的な悩みをしない。
15. とにかく行動!

**(株)丸正ネジ
下村英機
(昭和17年生まれ)**

1. 46年
2. 家業を引き継ぐ。
3. 厳しいと思うが、工夫・努力で突破したい。
4. 消費税の増税後が恐ろしい。
5. 吉永小百合。「知的」「清楚」。
6. 妻と子供3人。計5人。
7. 「備えあれば、うれいなし」。
10. NHKの「鶴瓶の家族に乾杯」。色々な地方が出て来る。ぶつけ本番で心が和む。
14. 塩分を極力減らして来た。
15. 健康管理をきっちりやり、他人様に迷惑をかけない様にしたい。

**(株)谷安鉢螺
谷川清石
(昭和29年生まれ)**

1. 37年。
2. 家業の為。
3. 厳しいと思いますが、ねじ商品は絶対必要なので、卸販売として期待は持っています。
4. 良くなると思います。
5. イチロー。
6. 娘(次女)と娘婿。
7. 誠心誠意。
8. スポーツ観戦、ゴルフ、野球。
9. ゴルフ、ウォーキング。
10. マネーの羅針盤、ワールドビジネスサテライト。ニュース、最新の情報収集。
11. 沖縄1回。
12. 日本橋にあります中華料理(三国亭)。
13. 初詣と厄除けを兼ねまして京都下賀茂神社に行きました。
14. 食べ過ぎ、飲み過ぎに注意しています。
15. 今年還暦ですので、改めて健康に留意し

**藤本産業(株)
祐村欣也
(昭和41年生まれ)**

1. 13年。(前職は銀行員でした)。
2. 藤本社長からお説教を受けたから。
3. もっとスマートな企業が多くなる。
4. 円安是正と追加経済政策の実行で消費税増税による一時的ダウンを吸収し、一年通しての予測では景気は良くなると思います。
5. 渡部昇一(上智大学名誉教授)。保守論客。切れ味が良い。
6. 妻と大学1年(娘)と高校1年、中学3年(双子)の男3人、6人家族です。
7. 「足るを知る。」
8. 鉄道模型。腕時計。
9. 散歩程度です。
10. NHK「歴史秘話ヒストリア」。歴史教科書には掲載されていなかった人物も紹介される良い番組だと思います。
11. 子供の学習塾やクラブ活動で家族が揃って旅行する機会がなく、残念ながら旅行には出かけておりません。
12. 鮓伊吹 何を食べてもおいしいです。
13. 家族サービスと子供の受験勉強の手助け。
14. 炭水化物を取りすぎないようにしています。
15. 体調管理を万全にしたいと思います。

委員会だより

各種事業へのご協力御礼

業務委員長 堀内 龍夫

新年おめでとうございます。今年は午年ですが馬は人との付き合いが非常に古く人の役に立ち、また大事にあつかわれてきました。そして、物事の運びがうまくいく、幸運が駆け込んでくる、また、生れたての子馬は生後1時間程度立ち上がり、数時間内には駆ける事ができるようになることから、立ち上がりが早い、立身出世の象徴などと言われ、非常に縁起のいい動物です。この馬が跳ねるように走ることから、今年は、運気、景気が跳ね上がる事を期待したいと思います。

さて、平素は、共同購買・保険・出版・カーリース等、各事業に多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年も、カレンダー、手帳、ダイアリーにつきましては目標販売数を達成し、また、昨年、新規販売させて頂いたクリアーフォルダーも第一弾、第二弾と2回の販売も、組合員各社、業務委員会委員諸氏、特に理事の皆様にはご理解を頂き、完売させて頂くことができました。誠に有難うございました。またカーリース事業、各種保険事業につきましても組合事務局、各社の営業努力により着実に契約が成立しております。重ねて御礼申し上げます。

本年度も業務委員会にご支援いただきます様、よろしくお願ひ申し上げます。

如何にこなすか

広報委員長 中上 真一

オリンピックも、そろそろ終盤という頃かと思いますが“今年最初の広報誌、且つ原稿は年明け早々に書いている”ということで、改めまして、新年明けましておめでとうございます。

委員長という立場にある者としては“年頭所感”や“今年の抱負”などを述べたいとこ

ろですが、個人的には年末からとんでもなく大変で、それらを思う余裕など全くなく、年明けて思ったことといえば“目の前の問題を如何にこなすか”だけでした。しかしながら、その言葉 자체はいろんな場面にも通じるものがあると思いますので、それを私個人の抱負したいと思います。

今年の広報委員会はホームページについて見直していきたいと思っています。つきましては、アンケートを行いますので組合員各社様ならびに従業員の皆様には是非ともご協力を賜りますよう宜しくお願ひいたします。

オリンピック、期待通りに活躍できてたらいいですね。個人的にはそれどころではなく目の前の問題を如何にこなすかで精一杯ですけど…。(笑)

忘年会と合同新年互礼会開催

総務委員長 久保 哲也

新年明けましておめでとうございます。

昨年12月6日に、ホテルグランヴィア大阪にて、多数のご参加を頂き忘年会を開催しました。私にとって総務委員長としての初仕事でしたが、大和鈑螺工業の辻様のいつもの名司会、恒例となった大喜多様のジャズバンドの演奏、鈴木製作所の鈴木様の奥様のグループによるゴスペルなど、たくさんの方々のご協力を頂き無事に行うことが出来ました。

また、今年の1月9日には、シティプラザ大阪にて、関西ねじ協同組合様との合同で新年互礼会を開催しました。300名を超える両組合員をはじめ、多くのご来賓の方々、O-S会やK-2会の幹事の方々など多数のご参加を頂きました。

今年の特徴としまして、ここ数年来、どちらかといえば先行きの景気に対して厳しい見方が多かったように思われますが、今年はご来賓の方々のお話を聞きしても、何か明る

く希望の持てるようなお話が多かったように思います。

総務委員会としましても、少しでも皆様のお役に立てるような企画を考えていきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。

雨は天敵

福利厚生委員長 本田 裕久

平素は福利厚生事業にご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年11月に予定しておりましたテニス大会が2年連続で雨天中止となってしまいました。日取りがすこし悪いのか…やはり検討課題です。今回より予備日（2月2日）を設けさせていただきました。寒さ厳しい中ですが熱戦を期待しています。

また2月23日には、恒例のボーリング大会の開催があり、例年通りの白熱したゲームが繰り広げられると思います。ご参加の皆様、体調を整え優勝めざして頑張ってください。

委員会では、夏の野球大会の準備も進めています。委員の方々も大変ですが今年もお願いいたします。

本年も福利厚生事業にご理解とご協力、ご参加をよろしくお願ひ申し上げます。

年々進化するねじの勉強

労務副委員長 宮川 勝

平素は労務委員会の行事に、ご支援、ご協力、ご参加を頂き有難う御座います。

今期労務委員会の活動を御報告致します。

昨年10月17日『ねじ工場見学会と研修会』を日本鉄螺(株)様に於きまして28社51名の参加を頂き実施致しました。日本鉄螺(株)様より品証講座「ボルトが出来るまで」と言う非常に分かりやすい講座を受けた後、工場見学を行なつたので非常にわかり易かったと参加者の皆様より高評価を頂きました。

午後からの講義の部は、『ねじ産業へのいざない』と題しまして、(有)金属産業新聞社・

徳永社長様にお願い致しました。

11月8日～9日には「F Eセミナー図面の見方・書き方コース」で19社20名の参加を頂きテクノセンター東大阪にて実施致しました。

11月22日にはF Eセミナー（ジュニアコース）を鐵鋼会館にて開催。参加者は23社49名となり、日本鉄螺(株)西川社長様を講師にお願い致しました。講義は現物サンプルや実例等を使って頂き、昨年より進化した非常に分りやすくねじの基礎を勉強する事が出来ました。

次回は2月28日～3月1日、F Eセミナー（スタンダードコース）を鐵鋼会館にて、中堅社員向けとして開催を予定しております。今回は泊りでなく日帰りコースとし、幅広い受講者を視野に置き講義を考えております。

本年も労務委員会の活動に御理解と御協力の程お願ひ申し上げます。

呼称と実物の乖離

JIS検討プロジェクトリーダー 井上 勝裕

昨年、食品偽造の問題が発覚して、ホテルや飲食店が、謝罪する光景日常茶飯でした。

そこから日々感じている疑問が噴出。

最近わたくしは立呑み屋でサーモン刺身をよく頼む。カウンターの奥に英語でサーモントラウトと明記された段ボール箱を確認。その店では鮭塩焼きもやっている。渾沌。

また、若い時分よく利用したのがホカ弁屋で、なかでも重宝したのが最安値のシャケ弁であった。当時のラジオからの情報なのでその真偽のほどは理解らぬが、「シャケ弁は北海道だけ鮭で、本州は鱈なのです。北海道ではばれますからね」といった怪しげな話題である。

これらの事象は呼称と実物の乖離(かいり)であり、それが曖昧なまま世のなかは動いているように思われます。

昨日たまたま某得意先さまの図面を眺めていて、C A Dで作成されたその図面の材質は堂々とS S 4 0 0と明記されていた。これはヘッダーで製造するのが最適な製品である。現在、もし材料証明を求められたらばS W C H

なんかで「どうしてSS400じゃないのか」とアウトになるだろうなあ時節柄。悪気はないのですけどお互いに。

まだニジマス弁をシャケ弁と称するより良心的だと思うのですけど。まさかニジマス弁では売れないだろう、なんばなんでもねえ。

Nシステムの普及に向けて

EDI委員長 大喜多 正己

日頃は当委員会にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

お陰様をもちまして、EDIシステムは順調に稼働しています。ただ、参加社数はまだまだ少ないため、1社あたりの費用負担を切り下げるには至らず、赤字にならない程度の収支となっています。

最近は、頻繁にではありませんが、EDIに関するご質問やご相談をお寄せいただけようになりました。また、NシステムやNコード（共通商品コード）の認知度をアップする方策も検討しています。なにぶん、普及といつても、お願いして使っていただくような性質のものではないため、当面は環境作りに模索が続きそうですが、今後とも皆様の温かいご指導をお願いしますと共に、少しでもご

興味を持たれましたらお気軽にご連絡いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

第7期 社長塾を開催

経営委員長 三木 茂晴

新年あけましておめでとうございます。

平素は経営委員会の活動に御協力頂き、厚く御礼申し上げます。

また、年末の講演会にも多数の方に御参加頂き重ねて御礼申し上げます。

年末講演会において、講師のりそな銀行・黒瀬さん予想でいけば、今年一年の景気は概ね順調とのこと。明るい一年になりそうです。

2月からは第7期社長塾を開催いたします。視野を広げる絶好の機会です。異業種現役社長の生の声を聴き、社業発展に取り組むネジ業界の経営者のカンフル剤になればと願っております。

今回は元気な現役社長を講師にお招きするだけでなく、いつもと少し趣向を変え経営者にとっての『心のあり方』をテーマにする講師の方もお招きしております。全6回シリーズとなっております。一年間よろしくお願ひいたします。



藤田政秀氏(ニットー金属工業)が優勝

第11回 大鉄協親睦ゴルフコンペ

第11回親睦ゴルフコンペが昨年9月28日、奈良県天理市の春日台カントリークラブで行われ、藤田政秀氏(ニットー金属工業株社長)がNET74.4の好成績で優勝を飾りました。

大鉄協では春・秋の年2回、同好の士で懇親コンペを開催しています。ただ、近年は上位入賞者の“顔ぶれ”が固定化してきたため、今回から、過去10回の優勝者に新たに8掛けのハンディを設定し、プレーされました。午前8時18分、中コースからスタートした競技は、午後からの西コースを含めダブルペリア方式で争われました。

上位の成績は次の通り(敬称略、数字は中、西、グロス、ハンディキャップ、NETの順)

◇優勝 藤田政秀(ニットー金属工業株)
49、53、102、27.6、74.4

◇準優勝 西出倫明(NBファスナー工業株)
44、42、86、10.8、75.2

◇3位 遠藤康夫(株)ヤスオ金属製作所
49、48、97、21.6、75.4

次回第12回親睦ゴルフコンペは、きたる3月22日(土)、同じ春日台カントリークラブにて行われます。

問い合わせはニットー金属工業株(TEL 06-6761-7351)まで。

支部だより

穏やかな年に

東部支部長 鈴木 啓次

新年明けましておめでとうございます。

平素は、支部活動にご協力頂き誠に有難うございます。

昨年は、アベノミクスによる三本の矢の効果なのか、円安・株価高で我々の業界も後半には、少しずつ良くなつて来た様な気がいたします。

我が東部支部は、昨年は6月28日に支部納涼会として支部組合員と従業員との情報交換やゴスペルを迎える楽しい一時を、11月15・16日世界で一番美しい島と言われる香川県の直島にて地中博物館を見学、その後琴平温泉紅梅亭にて宿泊、若干のトラブルはありましたが無事に行程も滞りなく終了しました。

本年は、2月7日にシェラトン都ホテル大阪において新年会。本年も幹事一同頑張って皆様に喜んで参加頂ける催しを考えます。

寒さがまだまだ続きますが、皆様の健康とご多幸をお祈りし本年が穏やかな年でありますように。

支部の行事

西部支部長 原田 棟弘

新年あけまして、おめでとうございます。

平素は、西部支部活動に、ご協力を頂き誠に有難うございます。

さて今年は、各地で大雪（大寒波）にみまわれそうな今日このごろです。

今年の支部の行事を下記に

1月9日大鉢協新年互礼会が行なわれた、夜に、酒樂和創 結心（ゆいごころ）西天満で全社出席で、新年会を行いました。会席料理と毎回お馴染みのコンパニオンで気さくに会話が出来るため、たいへん盛り上がった夜でした。

今後の支部の行事予定を下記に記載します。

昨年も行いましたが、京セラドーム大阪で、4月1日に阪神タイガース対中日ドラゴンズの試合観戦を予定しています。各社にチケットを1枚渡す予定です。

6月には、支部旅行を計画しています。今から心をわくわくさせながら待っています。旅行幹事さんよろしくお願ひ致します。

7月には、暑気払いを兼ねてホテルで夕涼み会を予定しています。全員参加を、期待しています。

秋には、西部支部ゴルフコンペを開催する予定です。奮って参加をお待ちしています。

今年も全員参加ではりきって行きましょう。

中央支部は今年も結束で

中央支部長 小西 弘美

新年明けましておめでとうございます。

支部の皆様方におかれましては、お健やかに初春をお迎えの事と思います。平素は支部活動に御協力を頂きまして、ありがとうございます。

今年は、安倍政権による経済効果がどの様な形で中小企業に影響を与えるのかが未だ不透明ですが、復興の加速、東京オリンピックに向けてのインフラ整備事業・アメリカ経済の回復等により、着実に経済は良くなる方向へ向かうか否かを判断する年になりそうです。

さて、昨年は支部行事が少なく、皆様方と御一緒する機会が少なかった事をお詫び致します。

今年の支部行事としましては2月初旬に新年食事会、4月1日の京セラ大阪ドーム野球観戦、4月中旬に中央支部総会、8月に暑気払い食事会、10月は支部研修旅行等を計画しております。

何かと忙しいと存じますが、気軽に参加出来る支部を目指しておりますので、昨年同様に支部活動へのご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

行動する年に

九条支部長 馬渕 健司

新年あけましておめでとうございます。支部の皆様方にはお健やかに初春をお迎えの事と存じます。平素は支部活動にご協力を頂き誠に有難うございます。今年は4月に消費増税が控えておりますが、景気も回復傾向にありとにかく行動する年にしたいと考えております。

さて、九条支部におきましては昨年9月21日に恒例の九伸会ゴルフコンペを本田支部と合同で増谷様のお世話により能勢カントリーで行いました。また、11月9日～10日に親睦旅行を梶山様、梅田様のお世話により開催させて頂きました。札幌・小樽と晩秋の北海道を2日間堪能してまいりました。

今後の予定としましては、平野様のお世話により3月に大相撲観戦を予定しております。支部の皆様の多数のご参加をお待ちしております。

最後に2014年が、組合員の皆様方にとて素晴らしい年になりますことをお祈り申

し上げます。本年も宜しくお願い致します。

今年の本田支部運営

本田支部長 武田 等

新年明けまして、おめでとうございます。

平素は、本田支部活動にご理解ご協力を頂き誠に有難うございます。

今年は、消費税率の引上げや、なかなか浸透しない中小企業への景気回復感など、色々と問題はありますが、冬季オリンピックやワールドカップなど、色々なイベントも沢山あり、楽しみな一年になると確信しています。

本田支部の今年の行事は、3月8日、9日と1泊2日の山陰旅行を計画しています。

又、恒例の阪神タイガース開幕戦観戦も、谷川副理事長様のお世話で開催する予定にしています。

今年の本田支部は、『明るく、楽しく』を目標にして、少数ながら活気ある運営をしていきたいと考えておりますので、全員参加を今年も宜しく、お願い申し上げます。



中之島一帯を37名が快走

第1回 ランニング同好会

増谷彰彦副理事長が世話を務める『第1回大鉛協ランニング同好会』が昨年11月16・17日、大阪市北区の中之島公園内にあるバラ園一帯で開催されました。

両日合わせ述べ15社から計37名が参加、幸い天候にも恵まれ、参加者は青空の下を颯爽とランニングし、清々しい汗を流しました。

午前8時30分、淀屋橋のミズノに集合し、地下1階のロッカーで着替えを済ませた参加者は、各々ニックネーム付きのゼッケンをつけて貰い和気あいあいとスタート。中にはフルマラソンを3時間台で走る上級者から、初心者（約8割の方がランニング歴3年未満）まで参加していましたが、ミズノのインストラクターによる走り方は勿論、ストレッチの方法、長く早く走ることが出来るためのトレーニング方法、靴ひもの締め方に至るまで、

日頃あまり教えて貰えないことも楽しくコーチを受けました。

途中、休憩を兼ねた2人ひと組になっての柔軟体操などを挟み約2時間、約7kmほど走り、程良い汗をかいた後は、ミズノのロッカールームに併設されているシャワー室を借り、サッパリ・充実した気分でそれぞれの家路に着きました。

世話を増谷彰彦副理事長によると、次回は本年3月15日（土）または16日（日）に開催する予定です（小雨決行）。



初日の参加者



青空の下を颯爽と



2日目の参加者

○S会の貢

ちゃんとします。

(株)サンワ・アイ
熊田 隆

○S会の代表幹事に選んで戴いた事をきっかけに、○S会について考える事が多くなりました。

1964年から50年の歴史、一つの会が50年も存続している事を考えると、この会が私たちの業界の若手育成にとって大変重要な会であるという事は十分に分かります。

しかしながら、私はこの会の目的が何なのか十分に分からず、誘われるがまま入会しました。

当初、新年会・忘年会のみ参加していたせいもあって、抑えて言うとこの業界の方々はめちゃくちゃパワフルで賑やかな方が多いなと感じていました。入会して数年後、野島先輩のお誘いで初めて幹事をさせて頂いた時から少しづつこの会に対するイメージ、考え方方が変わったように思います。

公式の行事以外にも○Bの方々との交流会やK-2会様との交流会、2年前の関東の2世会との4会合同会等々、沢山の方々との出会いと交流の場を提供して頂きました。今年で入会して9年目となります。現在は会社での悩み等も相談出来る仲間に巡り合う事が出来、非常に有難い機会を与えてくれた会であったなと感謝しております。

○S会は50年の歴史の中で時代と共に変化し続けてきました。昨年、大きな節目を終え、次の50年に向けて生まれ変わるような気持ちでスタートしなければならないと考えています。周年パーティーの際に戴いた周年記念誌で大喜多大先輩が仰っていたように「良く遊びそして良く遊び」の要素が目立ち過ぎているのかもしれません。世代交代が進んで行く中で未熟な我々が少しでも経営者としての準備が出来る場を提供し「遊びも一流、仕事も一流」を目指して今年1年間運営して行こうと思います。

お願い：○S会は現在会員数の減少が止まる気配がありません。現在38名で運営を行っておりますが、もし仮に入会者が無かった場合、来年は33名、再来年は28名、5年後になると16名になります。

会員の減少は会の行動も制限され、会そのものの衰退にも繋がります。今後、運営を継続するためにも真剣に考える時期に来ている様に感じています。賛否両論あり簡単に決断する事では無いですが、決定した際にはご理解下さい。会員一同でしっかりと話し合い決定して参りますので温かいご支援をお願いします。

初心

信和産工(株)
榎 恭 介

今年で39歳、平均寿命を考えれば、まさしく人生の折り返し地点にさし掛かったところでしょうか。いつの間にかアラサーからアラフォーになっている月日の経過の速さに改めて驚きと恐怖を覚えます。6年前に信和産工(株)に入社し、一昨年、代表に就任致しました。

家業を継ぐ気が無かった私は志望していた総合商社で働く為、就職活動を行いましたが、一番に希望していた企業からは採用されませんでした。その企業に必ず行けると思い込んでいましたので、その落胆は大きく就職浪人も考えましたが、採用通知を頂いた数社の中から私の事を一番評価して頂いた会社で勤める事を決めました。

私が配属された部署は泥臭く個性豊かで自由闊達な個の集団でした。部長も豪快な方で、一見バラバラそうに見えましたが、それら上と下を上手く当時の次長がコントロールしていたのだと思います。ある時偶然、上司の机の引出しにある私の評価表を見てしまった時があり、猪突猛進、精神的にゼロから叩き直す必要有りと記されたのを見た時は大変ショ

ックでした。景気の悪化また企業コンプライアンスが強く呼ばれるようになるにつれ、私の異端部署も縮小を余儀なくされました。結局、その会社に8年間勤め家業を継ぐ事になった訳ですが、その8年間で商売の楽しさ・厳しさを教えて頂きました。私は上司と先輩に恵まれましたが、後輩には縁がありませんでした。異端部署であった為か、私が最後でそれからは新入社員の増員は無かったからです。いつまでも下っ端、大そう可愛がって頂きましたが、その分、仕事に対する要求は厳しかったのを覚えています。今ではその次長は取締役本部長、大変お世話になった先輩は部長に昇進され、一層ご活躍されています。上司や先輩、後輩、同期そして取引先で出会った人々から教わった様々な事や経験は何事

にも代え難い私の貴重な財産であり初心です。

両親、家族、友人、社員、そして取引先、たくさんの人々に支えられ助けられ今の自分がおり、これから自分の自分があります。離れていくものと離したくないもの、失っても良いものと決して失いたくないもの、それらがなかなか思い通りに上手くいく事はありませんが、初心を忘れる事なく、新たな気持ちで折り返しをターンしたいと思います。

今まで、業務と会社の立地を理由にOS会の行事にあまり積極的に参加しませんでした。私のOS会在籍年数もあと僅か。人との出会い、縁を大切に楽しく厳しく、OS会幹事を努めたいと考えております。どうか皆様、今年一年よろしくお願ひ致します。

隨想投稿欄

「体」あっての「心」「技」

(株)オオヤマ

大山 寛之

皆様新年明けましておめでとうございます。今年も東部支部の幹事、福利厚生委員として諸先輩方の足を引っ張らない様頑張ります。

新年が明けて挨拶廻り、賀詞交歓会等の出席でバタバタしましたが、一年前と比べても明るい話が多くたつように思います。

これまで関東方面に比べて、関西はアベノミクスの恩恵を受けていないという事も言わっていましたが、今年は違うぞと思った矢先に、やしきたかじんさんが亡くなるという悲しいニュースが飛び込んで来ました。

たかじんさんと言えば私が学生時代の頃、当時流行っていたラジオの深夜番組「ヤングタウン」のパーソナリティーをされていました。今でこそ大スターのたかじんさんも知名度はそれほどなかった頃ですが、当時から歯に衣着せぬトークで我々を楽しませてくれました。又、カラオケではよくたかじんさんの歌を歌っていたので、このような訃報に接するにあたり寂しい気持ちで一杯です。

あれだけのパワーを持ったたかじんさんでも病には勝てなかったと言う事で、改めて健康の有難味を感じずにはおれません。

よくスポーツの世界で「心・技・体」と言いますが、体あっての心技だと言う事を痛感させられます。

私も今年は40代最後の年となります。公私とも充実した年になる様に、体調管理には気を配っていきたいと思います。

成長戦略

(株)丸エム製作所

松元 収

「海賊と呼ばれた男（百田尚樹著）」を読みました。

「石油を止められて」太平洋戦争になり、「石油がなくなつて」その戦争に負け、戦後も「メジャーやオペック」に牛耳られ、石油が採れない日本は戦後70年近く経った現在も、未だ「眞の独立を果していない」と言っても過言ではないといえるのでは!?

「基幹エネルギー〔電力〕」を自前（自国）

で確保できずして国の成長は語れません。「原子力発電」の再稼働も難しく高い石油系燃料での発電に頼り続ける現状は、国策として大変大きな問題と考えます。太陽光や風力では出力の不足や不安定という問題から、基幹エネルギーとしてはその責任は果せません。

- ・トリウム溶融塩炉発電（プルトニウム消化も適う）
- ・地熱発電（日本中どこでも温泉）
- ・メタンハイドレート（日本海側の塊を）
- ・水力発電（水車型や夜間揚水方式も）
- ・e t c.

これらの“併せ技”で“自前の電力”的安定・安価供給が適えば、空洞化を止める要因にもなり得るはず。産業活性化を語る前提に電力問題がその根幹に有る訳で、このままで

“世界一高い電力”でのボデーブローが続けばその内必ず致命傷となり、国の成長どころではなくなる懸念なのです。これらの分野へ積極配分する、2014年度“成長戦略予算”になるように心から期待します。

もう一点、本稿で主張したい点は、いったい「(異常気象が続く) 地球は誰のものか!？」の質問に対して、その答えは『地球は(人類にとって) 借家』であるという考え方。しかも、それは動物も植物も一緒に住んでいる「集合住宅(マンション)」と考えれば解かり易い例え。タバコの煙でも隣家には迷惑な話で訴訟にまでの時代、空気を汚し続けることは許されないはず。借家なら、出来るだけ汚さず(壊さず)に元の状態に近い形で次世代の人達へ返却(解約)の責任あり。CO₂ガス25%削減の約束も、一国の首相としての責任発言(約束手形)。ならば、その約束期日は何時なのか!?. 現政権もその責任は引き継いでいるはずなのです。

安倍首相の仰る『美しい国、日本』の実現に向けての第一歩は、「石油を使わない」「石油に頼らない」「石油に振り回されない」「国造り」であろうと信じて疑いません。

『地球は“借家”とのメッセージを日本から世界に発信し続ける…』

その為の“有言実行”を成長戦略の具体的なビジョンとして行動を始める2014年。

日本はそれが出来る(技術力のある)国で

あるし、世界に先駆けて「脱石油国家」を建設し、地球環境の側面から「世界のリーダー」にならなければいけない責務があると考えています。

冬のキャンプ

(株)北川製作所

粕渕 正明

ここ数年、毎年12月になるとキャンプをしている。といっても、冬山に登るとか、人里離れたところでというような危険なものではない。きちんと冬でも開いているキャンプ場で、装備もそれなりに十分なものを揃えているし、この時期の滋賀は初雪が降るかどうかといったところで概ね天候の心配も少ない。

アウトドア好きとはいえ危険や迷惑を顧みない趣味はしたくない。ただ、この季節は自然の中で一人になれる独特的の時間が流れていると感じるし、その中で焚き火ができるキャンプ場は限られている。それに、そこで新たに出会った人達との交流はいつもの生活と違った楽しさがある。もちろん家族とのキャンプが嫌いなわけではないが、今回の様にひとりとした山の中で、運よく星空に雪がちらほら舞っていたりするととてもラッキーな気分になるのだ。

日が暮れたら薪に火をつけ、特製の鍋と共にゆっくりと時間が流れるのを楽しむ。そして、その後はオーナーと常連客とで焚き火を囲んでの飲み会である。今回は東京と名古屋、それと近郊からの夫婦の計3組のようだ。いつものように他愛ない話がさらに盛り上がり、ギターを持ち出しての演奏となった。どうやら東京と名古屋のご主人通しはミュージシャン仲間のようである。酒と焚き火と粉雪とブルースがこの一期一会を心地よく演出してくれた。

夜も深まり、どこそこの山で熊が出たとか、キャンプ場に幽霊が出たとか、嘘か本当か飲んだ勢いで出るわ出るわ。結局お開きはいつもと同じく日が変わっていた。そのとき気温-1℃。明日の朝は薄っすらと雪が積もっていたらいいなという期待をしつつ暖かい寝袋にもぐり込むのだった。

酷道体験記

(株)白兎
赤座 和 宏

ちょうど一年前の話になるのだが、その日の晩酌の酒を切らせていたことを思い出し、奈良の「春鹿」と言う酒蔵へ愛車を走らせることにした。高速で行くのもつまらないで知らないルートで行ってみようと思いつた地図で確認。が、大阪 ⇄ 奈良を結ぶ道は意外に少なく、ひとつだけ見慣れない道を発見し、あまり深く考えずにナビを頼りに出発した。

先に説明しておこう。これこそがマニアに密かな人気を博している「酷道 308 号・暗峠（くらがりとうげ）」だったのだ。大阪と奈良を結ぶ最短距離の重要道路でありながら、道幅狭小・急勾配・急カーブと酷道とレッタルが貼られている悪路なのである。

当時はそんな事は知らずに、市内から長堀通りを東へ真っすぐ順調に走っていた。花園ラグビー場を横目に通り過ぎ、徐々に坂道を上がって行くと近鉄線に行きあたる。そして高架橋を潜ると急に道が狭くなり坂も険しくなってきた。その道は枚岡公園内を通っているので、「ホンマにクルマで通ってもいいんですか?」と地元の方らしき人に尋ねたほどだ。ハイカー達の迷惑そうな視線を浴びながらも先を急ぐ。ここまで来ると道幅はクルマ一台分しかなく U ターンすることも出来ない。もう引き返せないので。ギアをローに入れたまま上り続けるしかない。あまりに凄い勾配なので、クルマを停めて記念写真を一枚と思って降りたところが、サイドブレーキだけでは止まりきれずにズルズルと後退するではないか! 慌ててクルマに飛び乗ったが、坂道発進するのも一苦労だ。それでもまだ幸いなことにここまで対向車に遭わなかったのだが、最大の難所でそれはやって来た。後に知ったのだが、国道としては最大の斜度を誇り、なおかつヘアピンカーブという一番の難所で対向車に出会ってしまったのだ。ここは登ってる側の私が下がるしかない。バックで寄せすぎて脱輪したら終わりだなと思いながら、タイヤを半分道からはみ出しつつなんとかクリアした。真冬なのにびっしょり汗をかいしてしまった。

この先も、車道というより歩道か畦道のようなところや、脱輪したら畠に転落しそうな危険なところを通過して、やっと県境の「暗峠」に到達した。そこは石畳の敷かれたとても風情のある場所だった。しかし駐車するスペースなどあるはずもなく、写真も撮れずにすぐに奈良側へと下って行った。大阪側に比べると比較的道もまともで、無事に奈良市街地を走り目的の酒蔵にたどり着くことができた。

後日同じ道を、今度は自分の脚で登ってみた。歩いてみてその勾配の急なことにあらためて驚くとともに、先人たちが伊勢参りをするのにも使ったという歴史ある古道を、スリルをあじわいながら通ることが出来て感慨深いものがあった。

脚力か運転に自信のあるかたは、一度チャレンジされてみてはいかがでしょうか。

冬が大好き

太陽ファスナー(株)
田 村 応 友

生まれて 45 年、生まれ育った土地で現在も住まいを構えています。大阪府東部の奈良県との県境、自然が未だ残る土地です。幼少期の頃から、自然いっぱいの土地で過ごし、父親に連れられ、生駒山にハイキングにいった事を覚えています。そのような環境で育った事も関係あるのかわかりませんが、趣味と言えば自然に関するものが多く、「スキー・キャンプ」などアウトドアが中心です。特に、スキーに関しては、26 年間、毎年欠かさず行っています。

小学生の頃からスキー場へは行っていましたが、私がスキーの魅力に取りつかれたのは、高校 3 年生を卒業した、春休みの友人とのスキー旅行でした。場所は、長野県白馬のスキー場でしたが、私が一番記憶に残っているのは、車上から見た、朝日が昇る快晴の景色でした。それ以来、冬景色の虜になりました。時代は、バブル時代終盤くらいでしたが、スキー場によっては、都会の夜が再現されたように、華やかなお店が多く点在していました。同じような光景を見られた方も多いと思います。私

自身は、華やかなことは、さて置き、年によつては毎週のように、スキー場に足を運んでいました。

しかし、時代と共に、年々スキーポート人口が減少していることは違ひありませんが、私の脳裏からあの『快晴の冬景色』が消えることはありません。毎年、冬になればわくわくする気持ちが今も変りなく続いているくらいです。

現在も、家族4人で年末年始の休暇を利用してスキー旅行を行っています。中学1年生の娘

と小学3年生の息子がいますが、数年前までは、連れられて行っている雰囲気がありました。最近は、すべれるようにもなり少し楽しんでいるようにも感じています。この先、子供達がどのようなことに興味を持ち成長していくのかは見守りたいと思いますが、父親としては自然を感じる趣味（遊び）を見つけて、いつまでも純粋な心を持った人間に成長してほしいと願っています。



卸売業の“強み”を探る 『あきんどCafé』に増谷副理事長が登壇

大鉄協副理事長を務める増谷彰彦氏（増谷ボルト㈱社長）は、昨年11月21日の異業種交流トークセッション第4回『あきんどCafé』にゲストスピーカーとして出席、「卸売業として生き残るための“強み”」をテーマに自社の現況や経営課題などを述べ、参加者と意見交換しました。

この催しは大阪府主催により平成24年度から商業交流支援事業として行われている講演会形式の交流・情報交換の「場」。25年度からは1名のゲストスピーカーによる講演&トークセッションの後、参加者による交流会も実施しています。

午後6時から中央区の大坂産業創造館で行われた同セッションには、ねじ業界はもとより眼鏡、電子・IT、貿易、経営コンサル、大学関係者など計17名が参加、コーディネーターのりそな銀行・奥田浩之氏を司会・進行役に、増谷氏が話を展開しました。

同氏はこの中で自己紹介に続き、「締結」や「鉄螺」についての概念、ねじの歴史などについて述べ、併せて奥田氏が業界団体がまとめた統計資料などを紹介、大阪におけるねじ流通業界構造について増谷氏が補足する形で説明しました。

続いて奥田氏がステンレスに特化した増谷ボルト㈱のビジネスモデルとして、約4000億円あるとするねじのマーケットのうち、2.5%のステンレスねじ市場100億円の約18%シェアを同社が占めていることや、45名の社員で

2万種の取扱商品を管理し、1日約1500件に及ぶ受注の8割を“即日出荷”で約250件の得意先に販売していること、また2万種の70%が規格外の特注品であるなどを披露。これに対し増谷氏はメーカー在庫にない首下長さの製品や、添加物如何で変わる合金鋼の特性からステンレスでも様々な鋼種の製品を在庫してきたこと、近年はチタン製品にまで在庫販売アイテムを広げ仲間売りの一次問屋としての役割を担ってきたこと、また品質重視の姿勢から検査機器類の充実を図っていることなどを説明しました。

一連のやりとりを通じ、奥田氏は同社における“強み”を、△豊富な在庫とスピーディかつ正確な“バラ出荷”対応、△在庫リスクを抱えても「ステンレスねじなら何でも揃う」という評価を確立している点、△非価格競争し得る高付加価値化の追求－などとして挙げました。

このあと参加者同士の意見交換、質疑応答が行われセッションが終了しました。



自社の概要を説明する増谷氏(右)

航空機産業参入事例を紹介 由良相談役・理事が『経営革新セミナー』で講演

大阪府中小企業団体中央会(岡本楳雄会長)による『中小企業経営革新セミナー』が昨年10月16日午後3時から中央区の“シティプラザ大阪”にて開催され、大鈑協相談役・理事を務める由良産商(株)の由良豊一社長が「企業間連携による販路開拓」をテーマに、航空機部品産業参入について1時間余り講演を行いました。

同セミナーは、販路開拓や人材育成、製品開発など中小企業が抱える課題に積極的に取り組み、革新的な経営を実践している大阪の経営者を講師に、事例発表を通じ傘下組合員企業経営者の参考に供する目的で企画されたもの。

当日は主催関係者挨拶、司会による講師紹介に続いて由良氏が登壇。自社紹介に始まり、ねじの元卸として現状への危機感を前置きに、成長戦略の一環として航空機産業にターゲットを絞った経緯などを最初に述べました。ただ、極めて高水準のモノづくりが求められる航空機産業へ中小企業が参入するのは1社だけでは負担が重く、大阪市経済局による「次世代型航空機部品供給ネットワーク」や近畿経済産業局の「関西国際航空機市場参入等支援事業」などを通じ、同分野参入への方途を探ったそ

です。

こうしたなかで専門的かつ総合的な知識を有する存在として住友精密工業(株)と出会い、同社の指導を受けながら優れた加工技術を持つ中小企業を水平分業的に組み合わせたネットワークづくりに着手。中核となる“受け皿”的企業が必要との判断から、由良産商(株)自らその役割を果たすべく、昨年2月に「ジャパン・エアロ・ネットワーク(株)」を設立し、中小企業連携による航空機部品供給に乗り出しています。

結びに当たり同氏は、大阪はモノづくりの町というより卸商人の町とし、中小企業が元気になるためには卸が本来の姿を取り戻すことが大切と力説しました。



講演の模様

28社・51名が日本鉄螺(株)で一貫生産学ぶ 工場見学＆研修会開催

労務委員会(藤澤義弘委員長)企画&運営による“平成25年度ねじ工場見学・研修会”が、昨年10月17日、日本鉄螺(株)(本社・東大阪市、西川倫史社長)の受け入れ協力により開催されました。当日は組合員企業28社から51名の新入・若手社員が参加、伸線からボルト類の一貫生産現場や物流センターにおける最終出荷までの見学が、2つのテーマによる講義を挟んで行われました。

研修に先立ち行われたオリエンテーションでは、宮川勝副委員長(ミヤガワ金属販売)が司会を担当。はじめに小林三洋理事長が「今日ここで学べることに感謝しよう。受け入れ

て下さる研修先への感謝、送り出して下さる職場への感謝、労務委員の皆さんへの感謝をもって、今日一日しっかりと学ぼう」と感謝の心を持つ事の大切さを述べ、研修生たちを激励しました。そして今回の受け入れ会社を代表し西川社長が歓迎の辞を述べたのち、講座・工場見学の部へと移りました。

午前の講座では、「ボルトができるまで」と題して、日本鉄螺(株)技術部課長である乗竹雅温氏が講演しました。原料である鉄鉱石からねじの材料である線材が形作られるまでの過程や、伸線加工したのち金型、ヘッダー、フォーマーなどを用いてボルトが製造される工程

について、丁寧に解説されました。

続いて工場見学では、講座で学んだ通り実際に六角ボルトが製造される現場を自らの目で見ることで、より一層深い理解がなされる事となりました。敷地面積1万m²の本社工場では、ヘッダーを始めとする前記工程や包装の作業場まで見学しました。

また敷地面積4700m²の八尾工場(大阪府八尾市)では、伸線機に始まり、ヘッダー、フォーマー、先取り機、ローリングマシンのラインほか、表面処理施設などを見学しました。物流センター(敷地面積2000m²)では、立体自動ラック倉庫やロボットなど、自動化された各種システムを見学し、生産から物流に至るまでの一貫した仕組みを学びました。



研修会場の様子

午後の講座では、「ねじ産業へのいざない」と題して(有)金属産業新聞社取締役社長の徳永裕二氏が、ねじが使用され始めた時代から現代に至るまでの歴史や、尻無川水門工事での事故、ねじの安全対策、規格と資格制度などについて解説しました。

最後に藤澤義弘委員長と西川社長から研修生たちへ向けて、今後の活躍を願って応援の言葉が送られるとともに、レポート作成をもって全日程を終了しました。初めて工場での生産現場やヘッダーなど機械設備を目にした研修生も多かったため、「実際に製造工程を目にすることができて新鮮であった」「講義と見学のセットで学ぶ事によって、製造工程がよくわかった」などといった声が聞かれました。



工場見学の様子

FEジュニアセミナー開講

24社から50名の社員が参加



講師の西川社長

労務委員会(藤澤義弘委員長)企画・運営による第2回「FE JR(ジュニア)セミナー」が昨年11月22日、中央区の鐵鋼会館にて開催され、計24社から募集定員を上回る50名の社員が受講、講師の西川倫史社長(日本鉄螺(株))の話に耳を傾けました。

開講式は労務委員会・梅田真吾副委員長の司会で始まり、藤澤義弘委員長による開講の辞、注意事項説明、講義の順で進められました。藤澤委員長は挨拶の中で、教わるのは楽だが今後は皆さんが各社内で後輩を教える立場に立つ訳で、この点も含め考えながら学ん

でいただきたい。逆に言えば、講師を務めていただだく西川先生の持つパワーをどれだけ多く引き出せるかは皆さん次第であり、限られた時間だが研鑽に励んでいただきたい旨励ましの挨拶を行いました。

この後、司会からの注意事項説明を挟み研修に入りました。西川氏は開講に際して「今日は皆さんが“ねじ”を好きになるきっかけを出来る限り作りたい。仕事をする上で知識は大切だが、何もないところに積み上げていくものではなく、記憶の“ひっかかり”が何かあれば知識は積み重ねられる。今日は書くことより話しを良く聞いていただき、その“ひっかかり”を少しでも多く作って帰っていただきたい」と述べました。

そしてFE(ファスナー・エンジニア)の

ファスナーという言葉の語意・語源や、インプットよりアウトプットの重要性、会社の目的が継続にあることなどを“前振り”に、随所に身近な話題を挙げ受講者とのやりとりの中で講義をスタートしました。会場では女性社員の参加が目立ち、米国や韓国系の受講者もいたことから西川氏とのやりとりでは、ねじに纏わる“お国事情”を講師が逆に教わるひと幕もあるなど和やかな“国際交流”セミナーとなりました。

主な講義内容

▽はじめに=ねじの歴史と常識、日本のねじの工業化の歴史、ねじ流通業の実態、輸出入実績推移、ねじが関係した社会問題、ねじに勝る締結方法は?、ねじ業界で働く者として

▽ねじ入門=ねじとは(機能、原理)、ねじの種類、ねじの規格、JIS六角ボルト・ナット規格改正、JIS B 1180 六角ボルト I S O と附属書の違い

▽ねじの基礎=ねじ山の名称・形式、呼び・呼び径、等級、公差域クラス、検査

▽材料講習=鋼種、「てつ」のつくり方、炭素鋼の種類、いいねじとは?、ねじの強度

区分、合金鋼の種類、ステンレス鋼、線材の種類、材料強度、非鉄金属

▽熱処理=なぜ熱処理するの?、強度区分と熱処理温度の関係、熱処理の種類と冷却方法、熱処理の種類と目的、熱処理方法、熱処理硬度

▽めっき=なぜ表面処理するの?、電気亜鉛めっき方法、めっき厚、遅れ破壊、ベーキング、表面処理評価方法、ステンレスの表面処理、ねじ締付けトルク、トルク計算

▽製造工程=圧造機械、転造機械、ナット(圧造)、ナット(ねじ切削)、熱処理、表面処理(めっき)、検査・試験方法、覚えて帰ってね(まとめ)



セミナーの模様

経済・投資環境について学ぶ

年末恒例の講演会＆忘年会開催



講師の黒瀬氏

年末恒例の経営講演会ならびに忘年会が、昨年12月6日北区梅田の“ホテルグランヴィア大阪”にて開催されました。当日は証券アナリスト・黒瀬浩一氏による経済講演の後、忘年会では生バンド演奏やミニコンサート、ビン

ゴゲームなどを交え、90名の参加者は和やかに行く年を送りました。

第1部の講演会は経営委員会(三木茂晴委員長)の企画・運営により、小林理事長による開会

の辞、三木委員長による講師紹介に続いて、『今後の国内外の経済・投資環境について～日米共に経済政策運営は仕切り直し～』をテーマに、りそな銀行・アセットマネジメント部チーフ・マーケット・ストラテジスト黒瀬浩一氏の話を約1時間半にわたり聴講しました。

同氏は冒頭、リーマンショック後の世界経済について輸出入や原油・鉱物資源の需給動向ほか、米国や日本、そして中国や欧州における景気循環、金融政策をはじめ、長期的課題などについて様々な指標を基に分析、“シェールガス革命”や米国における“3本の矢”的成功例などを紹介しました。

特に日本では1920年代、高橋是清による世界で初めて量的金融緩和といった積極財政



挨拶する小林理事長

策が奏効し、欧米諸国よりいち早く世界恐慌から脱した例に学ぶことは多いものの、2000年代以降の経済政策マネジメントという点では政治の混迷もあり失敗、絶えず“3本の矢”の景気対策が必要と力説。安倍政権

最大の功績は日銀の体質にまで踏み込んだ経済政策で、“戦後レジーム(戦後に出来上がった政府の体質や制度)からの脱却”がいかに進むかや、財政面では“日本版QE2”と明確な成長戦略第2弾を待望されました。結局、為替や金融市場においても、政治がしっかりしていれば経済も良い方向に向かうと結論、質疑応答を経て谷川清石副理事長による謝辞で講演会が終了しました。

このあと忘年会は久保哲也総務委員長の開会の辞に続き、最初に大西進・前理事長をはじめ組合関係物故者へ黙祷を捧げた後、小林理事長が亡くなられる前の大西理事長との思い出や、参画御礼ならびに日頃の組合運営への協

力に謝意を表するとともに要旨次の通り挨拶しました。

「今年は半沢直樹の“倍返し”なる言葉が流行ったが、水戸黄門と同じく善悪が明確なので、あれはあれで良いのでしょう。ただ、私どもの業界で“倍返し”をすると大変な事になります。拡販のために安く売る相手が出てきたからといって、対抗し“倍返し”すると收拾がつかなくなります。大鉄協の定款で掲げた目的は『相互扶助』唯ひとつです。やはり私は“倍返し”ではなく“恩返し”だと思う。忘年会の設営に当たり尽力いただいた総務委員会メンバーのためにも、本日は皆様に楽しい一刻をお過ごしいただきたいと思います」。

このあと細山田秀明相談役・理事による乾杯の発声で開宴。辻宏二・総務委員による司会・進行のなか、7年前から恒例となった組合員の大喜多正己氏が友人と組んだジャズ・セッションや、同じく昨年から行われている組合員・鈴木偉之氏の奥様が参加されているゴスペルグループのミニコンサートが宴会に華を添えました。このほか豪華景品が当たるビンゴゲーム抽選会もあり、出席者は和やかに歓談しました。そして午後8時半過ぎ西幸男副理事長による“三本締め”で本年を締め括りました。



忘年会の模様



大喜多氏(右)らによるジャズセッション



ゴスペルのミニコンサート

表紙のことば

仙台・毛越寺

平田ネジ株 平田 彰三郎

写真は昨秋、慰安旅行で訪れた仙台での一枚です。

世界遺産の中尊寺～毛越寺を観光し宿泊地は秋保温泉のコース。

翌日は石巻～松島海岸へと足を伸ばして感じた事だが要所の観光地は遜色無い様に見受けられたが東北全体の復興はまだまだと言った感じ…がんばろう東北！



シリーズ 私の宝物 「朱印帳」「家族写真」

東郷ファスナー工業
吉川武久

①朱印帳

平成26年1月で75歳になったが、今でも日頃、休日(日曜)には、ほとんどゴルフにあけくれの日々を過ごしている。今から20年位前に、人生これまで良いものかと振り返ったことがありました。

その時、思いついたのが、家族サービスを兼ね、自分も楽しみながら、視野を広げたいと思い、近畿2府4県の主要神社仏閣巡りをしようと思い立ち、現在も継続している。

今迄に約20年間で巡り終えた主な神社仏閣の朱印帳の一部は次の通りです。



②家族写真

昭和55年1月2日、京都伏見稻荷大社の結婚式場にて初詣の折、家族写真を4人全員で撮影した事が起源である。当時私は、41歳位だったと思います。

以来、31年間1度も休まず、平成22年1月2日に至るまで、毎年1月2日の午前10~12時の間に家族写真を撮影するのが恒例の行事となった。もちろん。式場及び写真屋さんと毎年約束をしてのことである。何年同じ事が継続できるか、不安もあったが、とことんこだわり続け、正月は家族写真を最優先とし、旅行等その他行事は1月3日からとした。

31年間の間には、子供達は出たり入ったりしたが、我々夫婦は継続していたので、子供達も成人してからは、自分の考えで、初詣をかね家族写真に参加するようになった。おか

1、西国33靈場巡り(第一番札所青岸波寺より第33番札所華厳寺)

2、新西国33靈場巡り(第一番札所四天王寺より第33番札所瑠璃寺)

3、西国薬師靈場巡り(第一番札所薬師寺より第49番札所延暦寺)

4、近畿36不動尊巡り(第一番札所四天王寺より第36番札所南院波切不動)

5、四国88ヶ所靈場巡り(第一番札所靈山寺より第88番札所大窪寺)

6、神仏靈場150ヶ所巡り(伊勢内宮、外宮、熊野速玉大社より延暦寺に至る近畿2府4県150ヶ所)

げで31年間に亘る家族成長の記録を結果的に残す事ができたのは、家族がその間に健康だった事を物語る証である。

ただ誠に残念な事だが、時代の趨勢には逆らえず、平成23年以降については、同写真館廃業に伴い、恒例行事も中止となるに至った。但し初詣は継続中です。



今後の主な年間スケジュール

2014.2

| 日 時 | | | | 行 事 (予 定) | 場 所 |
|-----------|-----|---|-------|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 2 | 20 | 木 | 14:30 | 広報誌(86号)発行 | ヴィアーレ大阪 ヴィアーレ大阪 弁天町グランドボウル (株)アイビー研修室 鉄鋼会館 |
| | 21 | 金 | 16:00 | 三役会 | |
| | 21 | 金 | 10:00 | 理事会／役員懇親会 | |
| | 23 | 日 | 10:00 | 第40回ボウリング大会 | |
| | 26 | 水 | 18:30 | 第7期社長塾① | |
| 28～3/1 | | | | 第27回 FEセミナー(Stコース) | |
| 3 | 12 | 水 | 13:30 | 三役会 | 事務局 健保会館 (株)アイビー研修室 |
| | 12 | 水 | 15:00 | 理事会 | |
| | 12 | 水 | 18:30 | 第7期社長塾② | |
| 4 | 23 | 水 | 11:30 | 三役会 | 事務局 健保会館 (株)アイビー研修室 |
| | 23 | 水 | 14:00 | 理事会 | |
| | 23 | 水 | 18:30 | 第7期社長塾③ | |
| 5 | 21 | 水 | 18:30 | 第7期社長塾④ | (株)アイビー研修室 ヴィアーレ大阪 |
| | 23 | 金 | 15:00 | 通常総会 | |
| 6 | 11 | 水 | 13:30 | 三役会 | 事務局 健保会館 (株)アイビー研修室 未定 健保会館 |
| | 11 | 水 | 15:00 | 理事会 | |
| | 11 | 水 | 18:30 | 第7期社長塾⑤ | |
| | 未定 | | | 新入社員研修会(ねじ工場見学) 第66回野球大会 キャプテン会議 | |
| 7 | 9 | 水 | | 第7期社長塾⑥ | 未定 村田機械(神足球場) (8月回収) |
| | 27 | 日 | 9:00 | 第66回野球大会(1～3回戦) ねじ流通商社経営実態調査票、組合員に配布 | |
| 8 | 3 | 日 | 9:00 | 第66回野球大会(1～3回戦) | 村田機械(神足球場) |
| 9 | 未定 | 日 | 9:00 | 第66回野球大会(準決勝・決勝他) | 未定 事務局 健保会館 |
| | 10 | 水 | 13:30 | 三役会 | |
| | 10 | 水 | 15:00 | 理事会 | |
| | 20 | 土 | | 広報誌(87号)発行 | |
| 10 | 未定 | 日 | | 第6回 テニス大会 | 未定 |
| 11 | 7～8 | 水 | 13:30 | 第21回 FEセミナー(図面の見方・描き方) | テクノセンター東大阪 事務局 健保会館 鉄鋼会館 |
| | 12 | 水 | 15:00 | 三役会 | |
| | 12 | 水 | | 理事会 | |
| | 未定 | | | 第3回 FEセミナーJrコース | |
| 12 | 5 | 金 | 16:30 | 講演会 | ホテルモントレグラスミア大阪 ホテルモントレグラスミア大阪 |
| | 5 | 金 | 18:30 | 忘年会 | |
| 2015 1 | 9 | 金 | 10:00 | 新年互礼会 | ヴィアーレ大阪 |

*3月以降は予定です。

編集後記

お忙しい中、寄稿いただきありがとうございます
いました。皆様のご協力のおかげで無事発行
出来た事、心より感謝いたします。

今年は、ソチ五輪が開催されます。メダル
いくつ持って帰ってくるのか、とても楽しみ
にしております。

(木村嘉兼)

発行所
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10
(ツチノビル)

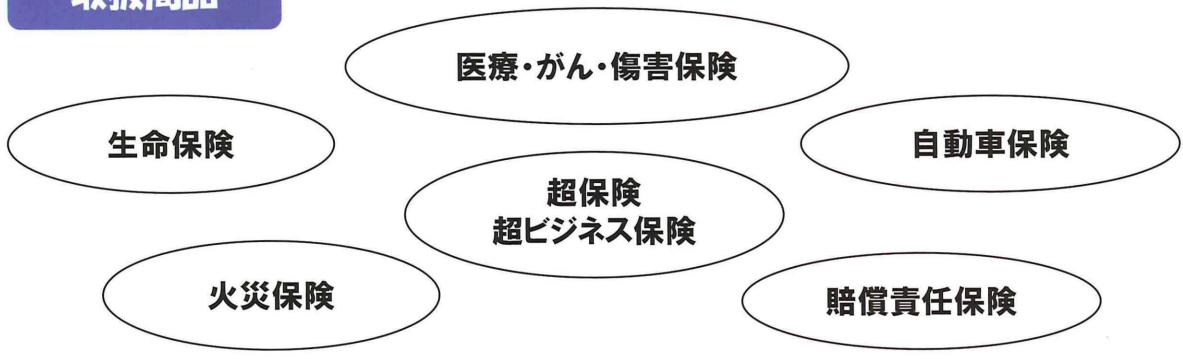
大阪鉄螺卸商協同組合
電話 (06) 6271-4550

印刷所
〒537-0013 大阪市東成区大今里南2-5-5
株式会社 ベン・アート
電話 (06) 6973-3338

大阪鈿螺卸商協同組合の 保険相談窓口

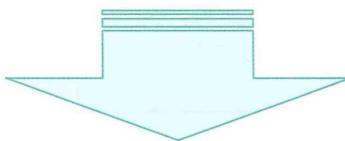
大阪鈿螺卸商協同組合では、組合員の皆様のための、保険相談窓口をご用意しております。既にご加入の保険の見直しや、新たにご加入になるときのご相談等を承っておりますので、是非ご活用ください。

取扱商品



* 生命保険・医療・がん保険のお引き受けは、東京海上日動あんしん生命(株)の商品で、(株)東海日動パートナーズ大阪南にて引き受けとなります。

この他にも多数商品を取り揃えております。
お見積もり、ご相談は無料ですので、
お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ先

大阪鈿螺卸商協同組合
担当 : 中西

〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10
ツチノビル
TEL 06-6271-4550 FAX 06-6271-0514

提携代理店 株式会社東海日動パートナーズ大阪南 TEL 06-6649-6727
担当 : 井上
HP: <http://www.tnp-osakaminami.com/>

引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社 TEL 06-6212-3531
大阪南直轄S